
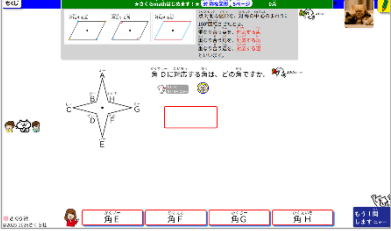


付けたい力：

- ・点対称の意味を知り、線対称との違いを理解する。
- ・点対称の図形について、対応する点、対応する角、対応する辺を正しく答える。

学習活動	指導上の留意点
<p>1 めあてを確認する。 T：今日は、点対称の図形について学習します。</p> <p>2 点対称の意味を知る。 T：この図のように、180° 回転するともとの図形にぴったり重なる図形を、点対称な図形と言います。 【展開例】</p>  <p>T：では、この図形は点対称ですか。 C：違います。 T：[「ちがう」をクリックして] たしかに、ぴったり重ならないですね。 T：各自で解いてみましょう。</p> <p>3 対称な点、角、辺の意味を知る。 【展開例】</p>  <p>T：角Dに対応する点は、どの角？ C：角Gです。 T：続けて言いましょう。「角Dに対応する角は、角Gです」。 T：各自で解いてみましょう。</p> <p>4 本時のまとめ、ふりかえりをする。 T：今日の感想を発表しましょう。</p>	<p>1 めあてを板書する（または、大型モニタやプロジェクターで提示する）。</p> <p>2 <さくら math>の対称な図形4ページの画面を大型モニタ等に提示する。 ・「よみましょう」をクリックする。 ・問題を解く際に、「ちょっと言いたいにゃー」をクリックして、「180° 回す」ことを意識づけていく。 ・正答を選択すると、問題図が180° 回転して、もとの図形と重なるかどうか視覚的に確かめることができる。 ・タイマーで3分程度設定して、各自で問題を解くことで、理解を深めるようにする。</p> <p>3 <さくら math>の対称な図形5ページの画面を大型モニタ等に提示する。 ・「よみましょう」をクリックする。 ・一度聞いただけでは理解しづらいので問題を解きながら理解を深めていく。 ・問題はランダムに表示されるので、テンポよく一緒に解いていく。 ・児童が迷っているときは「ちょっと言いたいにゃー」をクリックする。 ・「点●に対応する点は、点▲です」、「角●に対応する点は、点▲です」、「辺●■対応する辺は、点▲▼です」の言い方に慣れるようにする。 ・タイマーで5分程度設定して、各自で問題を解く。時間に余裕があれば、最後に全員でもう一度問題を解いて、達成感を共有する場面を設ける。</p> <p>4 児童の発言を肯定的に受け止める。次回は点対称の図形の性質を学習することを予告する。</p>